

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月6日(火) 13:30～15:30
- 3 開催場所 東濃高等学校ガイダンス室
(協議に先立ち、委員による授業参観を実施)
- 4 参加者

会 長	寺本 公行	御嵩町副町長
副 会 長	佐口 清道	会社役員
委 員	奥村 恒也	御嵩町教育長
	各務 眞弓	可児市国際交流協会・フレビア事務局長
	嶋崎 友美	PTA会計監査
	田中 妙子	税理士
	仲谷 ちぐさ	PTA副会長
	矢島 幹也	一般社団法人 てらす 代表理事
	山田 泰平	東海化学工業(株) 業務部人事・総括課長
学 校 側	吉田 益穂	校長
	野田 潤哉	教頭
	柴田 純孝	教頭
	大坪 篤	事務長
	永井 靖也	2年学年主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長、副会長の選出

- ・寺本委員が会長に、佐口委員が副会長に選出された。

(2) 「令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画」について

意見1：将来どういった進路に進むのか自信をもって明確に答えられる生徒は、何割くらいいるのか。

⇒2年生では、1割程度かと思われる。進学希望であっても、志望する分野は答えられて

も、学校名まで明確に答えられない生徒が多い。

➡「令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画」を承認

(3) 授業参観について

意見1：以前は授業に集中できない生徒の姿を見かけることがあったが、今日は生徒が落ち着いており、楽しそうに授業に向かう姿をたくさん見ることができた。先生方が色々な準備をし、生徒自身の学習に向かう意識が高くなったからだと思う。(複数)

意見2：掃除や整頓がかなり行き届き、校舎内外の環境が整っている。生徒は環境の中で育ち感化される。環境が生徒を育て、生徒が環境をつくっている。(複数)

意見3：東濃高校の生徒と町内の小中学校の児童生徒との連携は、近年コロナ禍で十分できなかったが、今後は進めてほしい。生徒には自己有用感や充実感を感じてもらい、互いにより関係を構築してほしい。

意見4：来日間もない生徒や、フレビアを経由して高校に入った生徒が頑張っている姿が見られた。多様性という点で、東濃高校は日本人の生徒にとっても、外国につながる生徒にとってもよい環境である。色々な国籍の生徒の持つ文化等を知る機会を学校の一つの魅力として、もっとアピールしていけたらよい。

意見5：受験のための勉強ではなく、将来大人になって役立つ教科を勉強していた。

意見6：すれ違う生徒が普通に挨拶してくれて気持ちよかった。

意見8：資料と説明の中で、「多様性」や「地域との関わり」というキーワードが出てきた。東濃高校がいわばダイバーシティ(多様性)の発信拠点として、地域に刺激を与えられる可能性も十分ある。是非とも特色を生かして学校運営をしてほしい。

(4) その他

・第2回本協議会を11月に実施予定。

6 会議のまとめ

第1回の本協議会は、実際の授業を参観して、現在の本校の様子をご理解いただいた上で教育指導の重点及び学校経営計画を協議いただいた。

委員のご意見からは、本校の生徒を温かい目で見ていただいていることが伝わり、本校の取組に力強い後押しが得られた。新型コロナウイルスの感染症法上の扱いも変更され、地域との連携等もコロナ禍前に近い形で実施できることも期待できる。さらなる発展の一年としたい。